

開一小だより

第361号

平成28年10月28日発行

練馬区立開進第一小学校

校長 石神 徹

現代版“灯火親しむべし”

おうちの方の子ども時代の一冊を

校長 石神 徹

智恵子は東京に空が無いといふ。ほんとの空が見たいといふ。
私は驚いて空を見る。・・・

阿多多羅山（あたたらやま）の山の上に

毎日出ている青い空が

智恵子のほんとうの空だといふ。あどけない空の話である。

（詩「あどけない話」高村光太郎詩集智恵子抄から）

10月前半は本校の読書旬間でした。これに合わせて、読み聞かせサークル・マザーグースのみなさんが全学級で1単位時間の読み聞かせをしてくださいました。冒頭の詩は5年生への序章でした。格調のある詩の朗読から入ることに、参観した私は驚きました。5年生は読み手を見つめたり、思いを巡らせたり。この後、挿絵のある外国物語や大型絵本、身近な出来事から平和を考える絵本や言葉の楽しさを味わう絵本というように幅広い本が紹介されました。半年後に卒業する6年生には、中学に向けた思いを込めて選書されたそうです。脈々とつながる本校の子どもへの贈りものです。

秋、多くの学校で読書強化の取組が行われています。本校でも図書館だよりでご案内の多彩な取組が展開され、11月上旬の全校児童の友だちにすすめたい本紹介が待たれるところです。全国学力調査結果では読書への意欲や習慣が学力に好影響を与えていることが示されています。狭義の学力を高めるだけでなく、知るは人生を楽しくするがごとく、読書は世界を広げます。

読書旬間を子どもたちは振り返りました。高学年から紹介します。

「なるべく文字が小さくて長いのを読みました。お母さんの本を借りて、あまり読まないような本も読めました。」「最後に読んだ宿題ひきうけ株式会社がおもしろかったし、1月までおすすめの本20冊はやっているの、それも読みたい。」「めあてを達成できた。達成感があつた。今後も本を読む習慣をつけていきたい。」「6種類読めました。すべて違う雰囲気の本なので、それぞれ気持ちを考えながら読めてよかったです。」「たくさん読めたけど、伝記が多かったから、今度はもっと小説（長い本）を読みたい。」「この先の話は何かを考えながら読めた。新しい発見などがあると思うので、たくさん本を読みたいと思いました。」「読書旬間があることで、毎日本を読もうと思えた。これからもこの気持ちを忘れずに、コツコツ本を読んでいきたい。」「

読書は世界を広げ、さらに学ぶ姿勢を磨くことがわかります。ここで提案です。子どもを読書好きにするには“先ず隋より始めよ”、大人からと思いますが、なかなかおうちの方は忙しく読書に勤しむことは難しいのではないのでしょうか。そこで、子どものころに読んだ日本の名作、世界の名作、伝記、いやこれに限らず、おうちの方の子ども時代の一冊を紹介してください。きっと、一つの道標になることでしょう。

灯火親しむ秋です。

5年生の終章となりました。

・・・曇った北海の空の下、

浪（なみ）はところどころ歯をむいて、
空を呪っているのです。いつはてるとも知れない呪。

海にいたのは あれは人魚ではないのです。

海にいたのは あれは、浪ばかり。

（詩「北の海」中原中也詩集在りし日の歌から）

11月の生活目標

《しっかり学習をしよう》

生活指導主任 澁谷 歩

しっかり学習することは、しっかり話を聴くことから始まります。何を自分の課題として取り組むのか、話を聴かずしてはわかりません。そして自分が学んだことをきちんと話し、友達の学んだこともしっかりと聴く。そこから学び合いが始まります。自分の考えと似ている考えをもっている人がいると自信がもてます。自分と違う考えからは新たな学びが得られます。目と耳と心で話を聴きましょう。

11月の行事予定

1日（火） 特別時程 午前授業
（1～4・6年）

就学時健診（5年参加）

1日（火）～4日（金） ユニセフ募金
8:00～8:15 校門にて

2日（水） 音楽朝会（低） 体育朝会（高）
校内研究のため午前授業
（6～3は5時間授業）

3日（木） 文化の日

4日（金） 生活科見学（1・2年）

7日（月） 全校朝会 委員会
クリーン運動（2・4・6年）

8日（火） 食育クイズ
移動教室前検診（5年）

9日（水） 体育朝会（低） 音楽朝会（高）
避難訓練

10日（木）～12日（土） 岩井移動教室（5年）

12日（土） 土曜授業日 月曜時間割

14日（月） 全校朝会
モリモリウィーク（短縄）始
15日（火） 生活科見学予備日（1・2年）
18日（金） かいいちアートの森1日目
19日（土） かいいちアートの森2日目
特別時程 午前授業 給食なし
月曜日時間割

21日（月） 振替休業日

23日（水） 勤労感謝の日

24日（木） 5時間授業 校区别協議会

25日（水） クラブ

28日（月） 全校朝会 委員会
クリーン運動（1・3・5年）

29日（火） 午前授業 個人面談1日目

30日（水） 教育会一斉研究日のため午前授業
特別時程

12/1（木） 安全指導

午前授業 個人面談2日目

岩井移動教室

5年担任 須藤 健太

5年生は、11月10日（木）から12日（土）までの3日間、岩井移動教室に行ってきます。

岩井という山もあり海も土地で、千枚田での自然観察をしたり牧場や水族館で生き物とふれあったりします。日常の学習とは違うこのような経験を通して、さらに豊かな心と体を養うことを目的としています。2泊3日間の共同生活では、自分の役割を果たし友達と協力することで、友達との絆をより深めながら大切な思い出を持ち帰ってきます。元気に行ってきます。

作品展「かいいちアートの森」（11月18・19日）

図工専科 高橋 史樹

2年に1度の「かいいちアートの森」が近づいてきました。子どもたちの思いがこめられた様々な作品が皆様をお待ちしています。ここで、作品を見るとときに私が大切にしている「子どもの思いを見る」ということについて書きたいと思います。

身の回りのものを撮った写真に色を塗り、その変化を楽しむ授業でのことです。教室の机をかわいい花柄にする子、校舎に模様をつけて宮殿のようにする子など、みんな思い思いに色による様子の変化を楽しみました。その中で花壇の色鮮やかなポピーの写真を撮り、その花びらの色を変えた子がいました。「先生、見て見て」と持ってきた作品のポピーは緑と茶の中間のようにごった色になっていました。「むむむ…」と思いながらも「先生に説明して。」と聞きました。すると「この花は見る人がいいなと思う色に変わるふしぎな花なの。だから持っている絵の具を全色まぜてつくった色でぬりました。」と説明してくれました。その子の表情は思いを表現できたうれしさであふれていました。

見ただけでは分からない思いが子どもの表現にはたくさんあります。ぜひその思いを聞き、ときには想像力を働かせながら「子どもの思いを見る」ことで、表現に込められた思いを楽しんでください。

1・2年生合同 生活科見学 （11月4日）

1年担任 熊田 慈子

校庭に植えられた樹木も色づき始め、季節の変化を感じます。

11月は子供たちが楽しみにしている生活科見学があります。1年生と2年生が一緒になって光が丘公園まで出かけます。1年生と2年生は、24に分かれたグループごとに自己紹介をしました。当日は、2年生のリーダーを中心に、1年生と2年生が協力してオリエンテーリングをする予定です。地域の「秋」を探しながら、異なる学年の班で活動することで、子供たちの交流を深めることはもちろん、集団の中で協力する心と自然に親しむ心を伸ばしていくことをねらいにしています。担任一同、安全に気をつけて楽しい思い出が作れるようにしていきます。

学校応援団まつり（10月15日）

副校長 後藤 京子

学校応援団まつりは、本校の学校応援団（校庭開放部・体育館開放部・図書館解放部・いちょうひろば、団体開放）の役員、スタッフの方々によるお祭りです。好天の中、300人を超す児童・保護者の方・地域の方が開一小に訪れました。

ビーズ教室、わたあめやミニアメリカンドッグ、キャンディレイづくり・プラバンづくり、ピカチュウ的当てゲーム、キックターゲット、スタンプラリー、ソフトバレー、フリスビー、缶ぽっくり、ウクレレ・ギターコンサート、おばけやしき と、たくさんの催しがありました。ウクレレ・ギターコンサートでノリノリの児童や、おばけやしきに何度もトライした児童など、どの児童も、楽しんで参加していました。

10月30日（日）には、本校の校庭・体育館で地区祭があります。地域の方による楽しいお祭りが開かれます。地域を身近に感じる子供は様々な人と関わりながら、地域や社会に目を向けられる視野の広い人間に成長することを願っています。

ご参加をお待ちしています。



ウクレレコンサート



缶ぽっくり



ピカチュウまとあて